

# スポーツ & カルチャー

がんばる小・中学生!!

## 小学生

- 第12回境町近隣バレーボールスポーツ少年団交流大会  
優勝 スマイルキッズスポーツ少年団
- 平成28年度つくばみらい市ミニバスケットボール市長杯  
優勝 下妻ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 第31回古河市ミニバスケットボール交流大会サマーカップ  
優勝 下妻ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 第33回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会柔道競技  
優勝 個人戦 中学2年生女子の部  
平塚 明里 (千代川道場)  
優勝 小学生団体戦 高学年の部  
下妻優心塾

県交通安全母の会連合会の「交通安全キャラバン隊」が、県民の交通安全意識のさらなる高揚と交通事故の防止を図ろうと8月23、24の両日、県内の市役所などを巡り、橋本知事のメッセージを伝えました。

本市では24日に同キャラバン隊が市民文化会館を訪れ、法泉寺保育園鼓笛隊の園児60人がAKB48の「365日の紙飛行機」を演奏し、隊員を激励しました。演奏に続いて園児たちは、よいこの交通安全3つの誓いとして「道路には、飛び出しません」などと元気に宣言しました。

稲葉市長は「今年に入り下妻市で4人、八千代町で2人の尊い命が交通事故で奪われている。この地域の事故の特徴や事故の悲惨さを訴えるなど広報啓発活動に努めていきたい」とあいさつしました。



県交通安全母の会連合会の神戸会長(右)に、交通事故撲滅を決意表明する稲葉市長

交通事故のない平穏で明るい地域づくり  
茨城県交通安全キャラバン隊 8月24日



おじいちゃんの指導を真剣に聞く子どもたち

小学生が祖父母と一緒に楽しくクッキング  
男女共同参画・保健センター食育共同事業 8月4日

「夏やさいDEかんたんランチ」をテーマに、料理を通じてコミュニケーションを図り、家族の役割分担や食育について学んでもらおうと、千代川公民館で「ファミリークッキング」が開かれ、市内の小学生とその祖父母5組14人が参加しました。

市の管理栄養士と食生活改善推進員を講師に、健康・食育しもつまプラン21に掲げる「もう一つ野菜料理を」にちなんで「鳥もも肉で野菜たっぷりケチャップ煮」「ごぼうのごま風味サラダ」の野菜をたっぷり使ったメニューをはじめ、キウイやミカンなどをあえた涼やかなゼリーを作りました。

子どもたちは、祖父母に野菜の切り方や肉の焼き方などを教わりながら、協力して一品ずつ丁寧に調理しました。

祖母と一緒に参加した古橋絢音さん(大形小2年)は「おばあちゃんとお料理をする機会があまりないからうれしい。家に帰ってもまた作りたい」と笑顔でした。



来店者に食事を提供する小田部さん

心地よい居場所をつくりたい  
学生カフェ「トリノス」オープン 8月21日

関東鉄道常総線下妻駅の西口広場にほど近いコミュニティカフェ「ぷらっとほーむ」に、学生カフェがオープンしました。

夢を持って羽ばたこうとする学生や子どもたち、羽ばたいて社会で活躍している人など、幅広い年代のさまざまな人が気軽に集う居場所にしてもらおうと、地元野菜と自家製ハーブを使ったカレーや飲み物が提供され、午前11時の開店と同時に満席になるほどの盛況ぶりを見せていました。

学生カフェ「トリノス」を代表する小田部江莉さんは、市内神明出身の白鷗大学4年生。「栄養バランスを意識した、子どもからお年寄りまで楽しめる料理を考えたい。ふるさとのために今後も頑張りたい」と意欲を見せていました。

今後は、10月の「しもつま砂沼フェスティバル」に出店を予定するほか、11月からは同施設で学生カフェ開店を前向きに取り組みたいとしています。

# まちのわだい

Town Topics

8月7～9日にかけて千葉県白子町サニーテニスコートで行われた平成28年度全国中学校体育大会第46回関東中学校ソフトテニス大会の女子団体戦で3位となり、全国大会出場を決めた下妻中学校女子ソフトテニス部の生徒8人が鈴木悟校長と顧問の橋本拓磨先生と共に市役所を訪問しました。

8月22～24日に石川県能登町で開催される第47回全国中学校ソフトテニス大会に向けて、主将で3年生の初澤夢空さんは「今までやってきたことを全て出し、最高の大会にしたい。優勝旗を下妻に持ち帰りたい」と力強く抱負を語り、稲葉市長は「皆さんの活躍は下妻市民の誇りになる。日頃の成果を発揮して、悔いのない試合をしてください」と激励しました。

下妻中・女子ソフトテニス部が  
全国大会出場  
全国大会出場に向けて市役所を訪問 8月10日



全国大会での活躍を誓う選手たち  
(右から3年生の初澤夢空さん、田島瑞希さん、大久保由希さん、溝口結彩さん、塚田春翔さん、田々辺明日翔さん、野手里紗子さん、1年生の溝口楓さん)

# ほっとレポライン

Hot Repo Line 市民の声

市内下乗の介護老人保健施設しろかねで、職員の方々がゴーヤのグリーンカーテンにチャレンジしています。同施設で介護支援専門員を務める飯島澄江さんからのアドバイスを紹介します。

市役所本庁舎の駐車場で、STOPI温暖化エコネットしもつまの方々がゴーヤの苗を配っていたので、頂いてきて5月から施設で育てています。グリーンカーテンにするために正面玄関横の窓際にプランターを準備してネットを張りました。



職員で水やりなどを行い約2カ月、黄色い花が咲き、小さいゴーヤが育ってきた時には感動しました。

# ゴーヤのグリーンカーテンで交流

入所している皆さんがリハビリの合間に見学に来るので、説明すると「ゴーヤ」より「にがうり」と言った方が親しみやすいようでした。面会のご家族からは「よく育てていますね」などと声をかけられることもあります。

ゴーヤの葉で、窓から入る夏の日差しが和らいでいます。



正面玄関前のゴーヤのグリーンカーテン